

池田みさ子とロス・アミーゴス

哀愁に満ちたアルゼンチン・タンゴの名曲を

狛江で生まれ育ち、バンドネオンの名手(故・池田光夫)を父に持つ
タンゴ・ピアニスト、池田みさ子。タンゴの古典の名曲とコンチネンタルタンゴ、
日本の名曲をタンゴにアレンジしたものなど、誰にでも楽しんでいただける作品を、
本場アルゼンチンのダンサーも交えたゴージャスなステージでお贈りいたします。

【予定曲目】エルチョコロ、ジェラシー、真珠探りのタンゴ、ラ・クンパルシータ、リベルタンゴ、津軽海峡冬景色 ほか



2015.12.5 [土] 15:00開演 (14:15開場) 全席指定 ¥3,500

狛江エコルマホール ●728席・小田急線狛江駅北口、徒歩1分 ●小田急線ご利用：新宿から約20分、登戸から約3分
バスご利用：調布駅から約15分

主催：一般財団法人 狛江市文化振興事業団 <http://ecorma-hall.jp> @ecormahall

一般発売 9.17 [木]

倶楽部E 発売 9.11 [金]

お申込み・お問合せ エコルマホール 03(3430)4106

●発売初日のエコルマホール窓口でのチケット販売は9:00から、電話予約は13:00から受付いたします。●内容等に変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
●託児サービス(2歳以上の未就学児ひとりにつき1,000円・定員制・公演の2週間前までに要予約)がございます。詳細はお問合せ下さい。

プレイガイド チケットぴあ <http://pia.jp/> 0570(02)9999(Pコード:272-686) Odakyu OX 狛江店 1F 宝くじShop (窓口販売のみ)

ECORMA MALL

コンサートに寄せて



池田みさ子
Misako Ikeda / ピアノ

エコルマホールでのタンゴのコンサートを夢見て、そして実現する事が出来て嬉しさいっぱいです。多摩川が遊び場、自然にあふれた環境の中で生まれ育ち、第一小学校、第二中学校と進みました。季節の花が咲き、夏は花火大会、そして虫取り、川遊び等、そのころの体験は大切な1ページになった事。狛江の地に感謝です。父(バンドネオン奏者・故池田光夫)の影響で音楽の方に進みクラシックの勉強をしているうちにタンゴの世界に入り、「情熱」「哀愁」「希望」—そんな言葉が似合うタンゴに魅了されました。日本人の感性に合うタンゴ、激しいリズムと甘く切ないメロディーが人々の心に沁み込み希望へと進む原動力になっていきます。
ピアノ、バンドネオン、ヴァイオリン、コントラバスそれぞれの楽器が絡み合い、タンゴの名曲を演奏、唄、アルゼンチン人のタンゴダンサーと共に、華麗なタンゴショーをお楽しみいただけたら幸いです。

小学校時代からピアノに魅せられ、父親がバンドネオン奏者(故池田光夫)ということもあって、幼少時代からバンドネオンの響きと一緒に過ごす。洗足学園大学ピアノ科を卒業後、池田光夫とロス・アミーゴスのメンバーとして、宝塚の歌手・大浦みずきとNHKで共演。また、菅原洋一とも共演など、幅広い演奏活動を展開。父、没後は、自らラス・エルマーナスを主宰、トリオやカルテットなど、小編成のオルケスタでピアノを中心としたリズムカルで迫力あるタッチの叙情あふれるタンゴを演奏、その豊かな音楽性は聴く人の心を常に魅了し続けている。2009年、2010年と自主公演による、池田みさ子タンゴ四重奏を表参道・コーリーベイホールで開催、絶賛を浴びる。2010年12月、池田みさ子とロス・アミーゴスとして活動を始める。2011年5月、ファーストアルバムCD「RECUERDO ~想い出~」を発売。2012年、恵比寿アートカフェフレンズにて2年連続自主企画によるコンサートを開催、絶賛を浴びる。2015年10月CD「~私の想いをあなたに~」を発売。

池田達則 Tatsunori Ikeda / バンドネオン

16歳でバンドネオンを始め、元「オルケスタ・ティピカ東京」の岡本昭氏に師事。2004年に単身アルゼンチンへ渡りマルコス・マドリガル氏に師事する。2005年 オスバルド・ブグリエーセ生誕100年記念にアルゼンチン政府から招待され、斎藤一臣氏率いる「オルケスタYOKOHAMA」のバンドネオン奏者としてアルゼンチン演奏旅行に参加。バンドネオン研鑽に励む傍ら、洗足学園音楽大学音楽音響デザイン学科作曲専攻を卒業。2007年からはタンゴバイオリニスト、古橋ユキ氏のコンパントに参加。2010年、アルゼンチンへ渡りブグリエーセ・サウンドを継承するバンドネオン奏者ロベルト・アルバレス氏に師事。



齋藤 順 Jun Saitoh / コントラバス

東京芸術大学器楽科卒業。長きにわたるスタジオミュージシャンとして演奏、編曲等々を行ってきたが、2008年ソロアルバム「ブラックパス」リリースを期にソロ活動も展開。また、各方面のアーティストプロデュース等も多数手掛け、音楽の仕掛け人としても好評を得ている。2011年発売「オブリビオンへ伝えたい気持ち」は、映画「白夜行」(堀北真希主演)のタイアップ曲も収録されるなど話題作となった。2014年発売「いにしへの彼方から」は、日本古来の音楽を意識して作り世界に跨れる日本人サウンドを志している。



鈴木崇朗 Takatoki Suzuki / バンドネオン

2001年よりバンドネオンを小松亮太氏に師事。2005年には小松亮太&オルケスタティピカのメンバーとして南米ツアーに参加し、ペルー、パラグアイ、アルゼンチン、ブラジルで公演。好評を博す。同年、単身アルゼンチンに留学し、バンドネオンをオスバルド・モンテス氏に師事。また同年小松真知子&タンゴクリスタルのメンバーとしてアルゼンチンサンルイス州で行われた国際タンゴフェスティバルに参加した。2007、2008年にはアルゼンチンに留学し、バンドネオンをフリオ・パネ氏、ネストル・マルコーニ氏に師事。2009年には2x4Tokioのメンバーとしてアルゼンチンバリロチェで行われた世界タンゴサミットに参加。現在、小松亮太&オルケスタティピカ、小松真知子&タンゴクリスタル、オルケスタ・アウラ等で活動中。



西澤 守 Mamoru Nishizawa / ヴォーカル

1980年にポップス歌手としてレコードデビュー。同時にNHKの朝ドラ「なっちゃんの写真館」にレギュラーとして抜擢され、歌手と俳優の両方で活躍した。1983年に中川美亜と出会い、本格的にタンゴ歌手の道を歩む。1984年ホルヘ・ドラゴネ音楽団のステージでデビュー。1990年にアルゼンチンに渡り、テアトロ・サンマルティンにて中川美亜とともにコンサートを行い好評を得る。その後、国内外の多数のタンゴミュージシャンと共演し、その甘く語りかけるような歌声は、ワルテル・リオスやホルヘ・ドラゴネからも「ハートを伝える数少ない歌手」と絶賛された。2006年より吉田水奈子(Cb)、竹内永和(Gt)、石井有子(Vl)と共に弦楽器と歌というタンゴでは珍しい編成のユニット Cuatro Vientos(4つの風)を結成。初のCDを制作する。国内では数少ない男性タンゴ歌手のひとりである。



吉田 篤 Atsushi Yoshida / ヴァイオリン

ヴァイオリン・ヴィオラ奏者。クラシックとタンゴの両ジャンルで活躍。山口県出身。全日本学生音楽コンクール福岡大会第1位。東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。同大学院室内楽科ヴァイオリン専攻修了。現在、東京芸術大学管弦楽研究部非常勤講師。「益大フィルハーモニア」「東京シンフォニエッタ」「カルテット・アーニマ」「コンツェントゥス・ムジクス東京」メンバー。2000年よりタンゴ演奏を始め、「小松亮太&タンギスツ」等のバンドで研鑽を積む。現在、「小松真知子&タンゴ・クリスタル」「Tango-jack」「オルケスタ・アウラ」等のバンドで活躍。



エンリケ&カロリーナ Enrique & Carolina / ダンサー

アルゼンチンタンゴの本場、ブエノスアイレス出身のふたり。2009年の春、【ダイハツタント】のテレビCMで共演したのをきっかけに、パートナーとして一緒に活動を開始する。大使館や企業のパーティー、ファッションショーやテレビ番組等日本各地で大活躍する傍ら、東京、名古屋、横浜でも講師として活躍している。エンリケの正直で温厚な人柄と確かなテクニック、またカロリーナの明るい性格と流暢な日本語で定評がある。エンリケの情熱溢れる力強いタンゴと、カロリーナの繊細かつ妖艶な大人のタンゴが見事な調和を見せ、観る者を必ず魅了する。



専光秀紀 Hideki Senko / ヴァイオリン

3歳からヴァイオリンを始める。東京音楽大学卒業、これまでに篠崎巧子氏、三本克郎氏、に師事。中学生からタンゴに興味を持ち、独学で奏法の研究を重ねる。東京音楽大学在学中に小松亮太オルケスタティピカに参加。小松亮太ユニット、オルケスタ横浜でも活動中。2012年2月アルゼンチンに渡り、パブロ・アグリ、アリエル・エスバンドリオ、ガブリエル・リーバスに師事。



Misako Ikeda & Los amigos